

# 東久留米市環境審議会 会議録

1. 会議名 平成 27 年度第 3 回東久留米市環境審議会
2. 日 時 平成 27 年 11 月 9 日 (月) 午前 10 時 00 分から午後 12 時 00 分
3. 場 所 東久留米市役所 3 階 議会会議室
4. 出席委員氏名 (敬称略) 杉原弘恭 (会長)、重藤さわ子、大山久仁夫、宮川正孝、山本直、樋川紘一、水戸部啓一、梅村清、三間優子、宗友之 (以上 10 名)
5. 欠席委員氏名 (敬称略) 田原悟子 (以上 1 名)
6. 事務局職員名 小林尚生環境安全部長、荒島久人環境政策課長、小平卓係長 (計画調整係)、熊部真係長 (緑と公園係)、白旗曜主任 (生活環境係)
7. コンサルタント会社 (株式会社 総合環境計画) 花田浩一、植田恵理
8. 傍聴人 なし
9. 次第
  - (1) 開会あいさつ
  - (2) 議題
    - ①平成 27 年度第 2 回環境審議会会議録の確認について (資料 1)
    - ②東久留米市環境基本計画の改定について (資料 2-1~3)
    - ③現行環境基本計画の進捗状況評価 (かんきょう東久留米) について (資料 3)
    - ④東久留米市緑地保全計画の進捗状況について (資料 4)
  - (3) その他
10. 配布資料
  - 平成 27 年度第 2 回環境審議会会議録 (案) ..... 資料 1
  - 環境基本計画第 2 回会議からの修正箇所 ..... 資料 2-1
  - 環境基本計画 作成イメージ ..... 資料 2-2
  - 環境基本計画策定スケジュール (案) ..... 資料 2-3

かんきょう東久留米第2回会議からの修正箇所 .....	資料 3-1
かんきょう東久留米（暫定版） .....	資料 3-2
平成26年度かんきょう東久留米点検評価・各委員意見 .....	資料 3-2
東久留米市緑地保全計画策定スケジュール（案） .....	資料 3-3

## 11. 平成27年度第2回環境審議会

- ・ 審議会長のあいさつ
- ・ 出欠席者の報告           出席 10 名、欠席 1 名、定足数に達しており会議は成立
- ・ 資料の確認

### (1) 平成27年度第2回環境審議会会議録の確認について（議題①資料1）

【事務局】資料1、説明。

- ・ 平成27年度第2回環境審議会会議録（案）を要点筆記したもの。
- ・ 異議がなければ、発言者の名前を伏して公開する。

【会長】何か、意見はあるか。

（異議なし）

### (2) 東久留米市環境基本計画の改定について（議題②資料2-1~3）

【事務局】資料2-1~3、説明。

【会長】2名の委員が検討部会に参加して頂いているが、今の説明に何か補足があるか。

【委員】事務局の説明に捕捉する。

- ・ 今回の資料は前回の審議会で出た意見を反映させたものである。
- ・ デザインについては、他の計画を参考にシンプルにまとめる予定である。
- ・ ボランティアで、デザインを請け負ってくれる方がいたら紹介してほしい。

【委員】デザイン・レイアウトも含めて、最終的にはもっとわかりやすくしたいと思っている。参考になっている計画は東久留米市の長期総合計画や緑の基本計画、都市計画マスタープランなどである。パブリックコメント用に一度装飾をなくしたものを作成した。内容がパブリックコメントに耐えるかどうかも検討して頂きたい。

【会長】デザインについて、心当たりのある方は、持ち帰っての検討をお願いします。

【委員】前回意見のあった3章の◎と○の表記について、凡例のみであったところに解説をつけて頂いた。わかりやすいかどうか確認してほしい。

【会長】わかりやすくなったと思う。P10の課題の順番も変更になっているようだが、どうか。

- 【委員】良くなったと思う。
- 【委員】P16、解説のタイトルのあとに(◎◎)とつけた方が、わかりやすいと思う。
- 【委員】「各主体の役割の表記(◎◎)について」で良いか。
- 【委員】良いと思う。
- 【会長】文章で書くのではなく、箇条書きの方がわかりやすいかもしれない。
- 【委員】その意見に賛成する。
- 【委員】P3の年表に、「関東・水と緑のネットワーク拠点百選」に選定されたことを追加してほしい。活動している人の励みにもなる。
- 【会長】市民の活動成果なので、異論がなければ入れたいが良いか。  
(一同同意)
- 【会長】他には意見があるか。
- 【委員】P17の上の表で「湧水点の調査」の「点」という表現が気になる。「湧水点」では、湧水の水質調査などは含まれない印象を受ける。通常は、湧水地や湧水などと表すものではないのか。
- 【事務局】こればボランティアの方々が調査してくれているもので、実際には湧水の数と水量について調査している。湧水の水質調査に関しては行政の役割だと考えられ、P18の上にある「地下水の～」というところで対応している。
- 【委員】今湧水の数約70箇所ある、湧水の調査と書くと調査の幅が広がって意味が異なってしまう。
- 【会長】この辺りの湧水は、崖線から連続して川に染み出しているのだが、湧水点を数えることに意味はあるか。
- 【委員】長いスパンで見れば、貴重なデータである。
- 【会長】湧水地点と表記してはどうか。
- 【事務局】湧水マップでは水量のあるところを湧水地点、水量の少ないところは湧水点と呼んでいる。湧水点と表記すれば湧水の水量に関わらず大きい意味で書くことができる。この説明を追加してはどうか。
- 【会長】それは良いと思うが、湧水点調査のボランティア活動については、どこかに記載してあるか。
- 【委員】このページの写真やトピックスはまだ入れていないので、そこに追加することができる。
- 【委員】資料編はパブリックコメントにもつくのか。
- 【委員】資料編は作成する予定だが、パブリックコメントには資料編はつかない。
- 【会長】かんきょう東久留米とも繋がるが、市民が現在取り組んでいることとリンクさせることも大事であるので、そこをわかりやすくしてもらえると良いと思う。
- 【委員】資料3-2かんきょう東久留米のP2では「落合川、黒目川、立野川に湧水点を明示する看板を～」となっており、湧水点という表現が使われている。

- 【事務局】今のご指摘通りで、普段使っている表現だったので気がつかなかったが、確かに一般的な表現ではないかもしれない。
- 【委員】P16は湧水地を保全すると書いているが、P17には湧水点の調査とある。項目が違うため表現が異なるのは承知しているが、なぜ違うのかと疑問に思う人はいると思う。
- 【委員】今は市民の活動を尊重してこういった書き方になっているが、わかりやすくする必要があるので、用語の解説は入れたい。
- 【会長】対外的な説明と市民の取り組みのバランスを取って、わかりやすく注釈を入れてほしい。例えば湧水マップの参照などはどうか。
- 【事務局】対応したいと思う。
- 【会長】他に意見はあるか。
- 【委員】P46の環境ハブについて、どんなものなのかイメージがつかめないので、例をいれてはどうか。
- 【委員】現状では特定のイメージで限定することはできない。具体的なイメージとしては他市の事例を掲載することはできる。さまざまな可能性を考え、今は環境ハブとなるような機能が必要ということを記載したい。
- 【委員】環境ハブに対する考え方は、いろいろあると思うが、具体的に明示しないと伝わらない可能性がある。
- 【委員】環境ハブの考え方は記載してある通りだが、形態としてはいろいろ考えられる。機能の大小も様々である。
- 【委員】例えば、将来のイメージとして市民環境会議がNPOとなってどこかに拠点を設けて、環境ハブとなる可能性もある。ただし、可能性だけで具体的に環境基本計画に記載することはできない。
- 【委員】4章はこれから検討・強化する施策である。
- 【委員】これは協働のイメージであり、環境ハブのイメージではない。枠の中に一緒に記載しているので、誤解を与えてしまうかもしれない。切り離した方が良い。
- 【会長】そのことについて一行でも良いので説明を入れた方が良いと思う。
- 【委員】その意見に賛成する。
- 【事務局】パブリックコメントでも同じ質問が出ると思う。例として他市の事例を入れてはどうか。
- 【委員】例は入れても良いが、これから検討するという幅は設けたい。
- 【会長】他に何かあるか。
- 【委員】P20のまん中あたりに記載のある「みどりの基金」だが、この用途は樹林地に限られるのか。
- 【事務局】原則として樹林地に限られているが、植栽することで今後樹林となる可能性のある場合も樹林地に含まれる。

- 【委員】みどりの基金について、詳しく説明してほしい。
- 【事務局】みどりの基金は、市民の方からの寄付によって成り立っている。さらに宅地開発の際に緑地の確保が困難な場合、緑地にかえて、その緑地の面積相当額のお金を基金として申し出ることができる。かんきょう東久留米の方にも集まった金額を記載している。
- 【委員】樹林地以外にも、湧水の保全のために使ってはどうかと思った。湧水保全のためには近辺の畑などを残す必要がある。
- 【委員】畑というのは、人がメンテナンスしていないと維持できないが、樹木は50年・100年生き続ける。森や林を切った代替はやはり樹林になると思う。
- 【委員】向山緑地の近くに畑があるのだが、例えばそこが相続で宅地になってしまった場合、向山緑地の湧水が枯渇してしまうかもしれない。そういった場合にみどりの基金で買い上げができれば良いと思った。
- 【事務局】緑地保全計画では基金の使い道を検討している。内容についてはまた報告したい。
- 【会長】みどりの基金は、開発の際のミチゲーションとしての代償措置でもあるので、保全に使うのが基本である。基金についての説明は資料編に入るのか。
- 【事務局】用語解説として入れる予定である。
- 【会長】市民の方が疑問に思う可能性があるが、パブリックコメント段階では説明がつかないということか。
- 【委員】そうである。
- 【会長】できれば一冊で読めた方が、親切だと思う。
- 【委員】第一次環境基本計画にも用語解説等の資料編はついている。なるべく本編でわかるように努めたい。
- 【委員】なぜパブリックコメントに資料編をつけないのか。
- 【委員】コメントを頂くのは第二次環境基本計画であり、資料編はコメントの対象にはならない。ただ、わかりづらいというのは大事な意見であるので、解説を付けたりしたい。
- 【委員】緑の基本計画の際はどのようにしたのか。
- 【事務局】資料編の中にみどりの基金についての説明がある。
- 【委員】パブリックコメントには入れていたか。
- 【事務局】入れていない。
- 【会長】他に意見あるか。
- 【委員】細かいところだが、P27の2つ目の施策は「廃棄資源」ではなく「廃棄物資源」ではないか。
- 【事務局】「廃棄物資源」に修正したいが良いか。

(一同同意)

- 【会 長】 他には意見はあるか。
- 【委 員】 P50の「進行管理の基本的な流れ」の部分だが、PDCAのP（計画）の表記が文中と図で表現が違うようだがなぜか。
- 【委 員】 文中の「計画立案」では1年目のことを指しており、図中の「計画の確定」では2年目のことを指している。誤解を与えてしまうので、「計画」と改めたい。
- 【委 員】 同じページ内の「PDCAの展開イメージ」のところの文章であるが、「5年ごとの中間見直し（計画全体の見直し）とは別に、毎年度「かんきょう東久留米」を通じた見直しと、おおむね5年ごとに行う」となっていて5年ごとが重複しているようである。
- 【委 員】 同じことを言っているようなので、修正したい。前半の「5年ごとの中間見直し（計画全体の見直し）とは別に、」を削除で良いか。

（一同同意）

- 【委 員】 P51の個別目標1に「湧水や河川を守り活かす」とあるが清流はこれに含まれないのか。
- 【委 員】 基本方針1には清流とあるが、それをブレイクダウンしている。清流を守るために、湧水を守る必要がある。その中では水質などを把握するなど記載している。上位概念を達成するために、それぞれ下位に記載されている。
- 【会 長】 P16では「湧水や清流の保全を推進する」とある。確認してほしい。
- 【委 員】 その部分の清流は河川の誤りである。修正したい。
- 【委 員】 上の枠内の文が「湧水・清流保宣言全都市」となってしまうのは「湧水・清流保全宣言都市」の誤りではないか。
- 【委 員】 そうである。修正したい。
- 【委 員】 下の表内の「湧水清流」と続いてしまっているのは「湧水・清流」と点を入れた方が良い。
- 【委 員】 もう一度、文字の抜け漏れなどチェックしなくてはいけない。
- 【会 長】 他には意見あるか。この会議終了後も、何かあれば事務局へ連絡してほしい。本日出た修正意見については、事務局に反映をお願いする。内容の修正について大幅な変更がある際にはメールで連絡してもらい、軽微な修正については事務局の方で修正するという対応で良いか。

（一同同意）

- 【会 長】 では次の議題に移る。

(3) 現行環境基本計画の進捗状況評価（かんきょう東久留米）について  
(議題③資料 3-1～2)

【事 務 局】

資料 3-1～3 説明。

- 【会長】これは、昨年度同様、環境基本計画と緑の基本計画の年次報告である。意見を願います。
- 【委員】資料 3-1 の P29 だが、自動車排気ガスには車単体の規制と大気汚染に関わる環境基準があり、環境基準は維持が望ましいとする基準である。その為、※とすることは誤解を招くと思う。
- 【事務局】市内の排出ガス測定局における大気の測定結果を示したものの。未達成の「※」のコメントを入れることに関しては杉原会長との話し合いの中で出たもので掲載している。前回の会議で環境基準を記載した方が良いのではないかと意見を頂いたが、環境基準を入れてしまうとかんきょう東久留米が専門的になりすぎてしまうとの意見もあった。このため、環境基準に対して達成・未達成で表現することとした。
- 【委員】この記載方法だと、環境基準未達成に問題があるかがわからない。環境基準未達成だからといって直ちに問題になるわけではない。環境基準は努力目標である。未達成と書くと、市民が不安になってしまうと思う。
- 【委員】今のように基準と規制の説明があると、基準というのは目標レベルであるということがわかる。説明がなかったら不安になるかもしれない。
- 【委員】P29 の PM2.5 については、市民の関心も高いと思うので、東京都全体のデータだけではなく、市の状態をもっと明確に記載すべきである。あまり不安にならないような表現にするなど考慮した方が良く思う。
- 【事務局】個々のコメントが付けづらいので、P26 に追加情報を記載したいと思う。
- 【委員】自動車排気ガス測定局と一般環境大気測定局の 2 つの測定局があり、一般環境大気測定局は市役所や学校、住宅地に設置されていて、まさに私たちの生活環境の大気の状態を観測するための測定局である。自動車排気ガス測定局は幹線道路沿いであって、自動車排ガスによる影響を見るための測定局である。できれば P26 か P27 に一般環境大気測定局のデータを記載した方が、市民の方もわかりやすいのではないかと。PM2.5 に関しては P26 の 1 の固定発生源と 4 の自動車公害の両方に関わってくるので書き方は難しいが、簡単でも良いので追記してほしい。今後の方向性の欄でも良いと思う。
- 【事務局】東久留米には一般環境大気測定局がないので、東京都全体のデータになってしまう。
- 【委員】注釈を入れれば近隣のデータの平均値でも良いと思う。データの整理が難しいければ、東京都全体のデータを掲載して注釈を入れてほしい。
- 【会長】P26 はコメントを変更することで良いか。
- 【事務局】コメントは追加する。データについては東久留米のデータではないが、参考というかたちで付近のデータを掲載するか、東京都全体の一般環境大気測定局のデータを注釈つきで掲載する。

- 【会 長】 東久留米に一般環境大気測定局がないということも記載した方が良い。
- 【事 務 局】 かんきょう東久留米の見直しの際に、発行できるのが遅いという意見がある。  
東京都や他の自治体のデータをもらうのに時間がかかってしまうので、今回は掲載しないとしたデータがあった。今の一般環境大気測定局のデータについては、東久留米に測定局がないので掲載しようと思う。他のデータは取り込まないということでご理解を頂きたい。
- 【委 員】 市民が、かんきょう東久留米を見て基準を超えてしまっているのが心配とならないよう数値の説明をしっかりとした方が良い。確かに幹線道路の自動車排ガスも重要だが、住宅地の方が市民は関心があると思う。今はそのデータがないので、今後考えていかなければならない。
- 【委 員】 行政の立場から、なかなか対策できないかもしれないが、一般的な事業所の立場からすれば、ボイラーからの排気や車の使用を減らすなどについて、行政が主導して取り組んでいるということが良いのではないか。
- 【事 務 局】 P26 の今後の方向性のコメントは追加する。
- 【会 長】 では次の資料に移る。
- 【事 務 局】  
資料 3-3 説明。
- 【会 長】 今の説明に対して意見はあるか。
- 【委 員】 P26 の評価の欄で、「前年と変わらない」の表現が△になっている。これではネガティブなイメージになってしまう。
- 【会 長】 たしかに積極的に維持されているのに、誤解を与える。これは目標値に対する評価は含まず、前年度と比較しての評価か。
- 【事 務 局】 評価は前年との比較のみである。
- 【会 長】 確かに全地点達成であるのに、△の表示になっている。
- 【委 員】 達成が続くと△が続いてしまう。評価の対象から外してはどうか。
- 【会 長】 <取り組み状況の評価>表中では、目標値に対する達成状況と、管理指標の両方の記載があるが、その変化に同じ○△×が使われている。ならば、凡例と表の「評価」のところを「状況」と変えてはどうか。
- 【事 務 局】 ではそのように変更する。
- 【委 員】 P16 の緑被率の横軸を変更して頂いている。わかりやすくなったと思う。これからも、こういったかたちで表現して頂けると見やすいと思う。
- 【会 長】 他にあるか。
- 【委 員】 P25 は前回グラフに誤りがあったようだが、文言が収集量から排出量に変更になり、グラフの設定が少し変更になっている。数値には変更がないようだ。これはなぜか。
- 【事 務 局】 収集量・排出量の表現の誤りで数値は正しかったので、変更なしである。

- 【委員】 P21 だが、生物の目を羅列するのではなく、絶滅危惧種は種名まで掲載してはどうか。あるいは、データの中に含めずに、取り組み状況の中で生物の紹介をしても良いと思う。
- 【事務局】 ホトケドジョウに関しては記載しても良いかもしれない。全国的に絶滅危惧種だが、東久留米には多く生息している。本当に希少な絶滅危惧種を掲載して良いのかどうかという問題がある。
- 【委員】 希少な生きものに対して取り組んでいるというのは、取り組み状況に記載するようなものではないのか。
- 【事務局】 取り組み状況には「ホトケドジョウなどの希少な～」という書き方で載せることはできる。
- 【会長】 そのように変更してほしい。その他にあるか。
- 【委員】 細かいことではあるが、P18に「みどりの基金積立金額」とあるが、さきほどの環境基本計画では漢字の緑という表記だった。これはどちらが正しいのか。
- 【事務局】 ひらがなが正しいので、統一するよう修正する。
- 【委員】 あと P16 の個別目標 2-1 の「公園緑地等都市施設とする～」とあるが、これの意味は下の※印の「公園+児童遊園+公団公社+子どもの広場」とイコールということが良いのか。
- 【事務局】 そうである。これは、かんきょう東久留米の評価指標としてこのような名前で掲載しているが、ちょっとわかりにくいので、このようなかたちで注釈を入れている。さらに補足するが、P15の数値と食い違っているところがある。これは経年変化を見るにあたって、このような数値にならざるを得なかったもので、その点でも注釈を入れた。
- 【会長】 他にはあるか。なければ昨年度同様、頂いた意見を会長と事務局において取りまとめて、評価文を作成し、委員の方にメールでお送りするので、チェックして頂き、内容に異論がなければ決定としたい。このプロセスで良いか。

(一同同意)

- 【会長】 一任を頂くということで進めたい。次の議題に移る。

### (3) 東久留米市緑地保全計画の進捗状況について（議題④資料 4）

【事務局】

資料 4（スケジュールについて）説明。

- 【会長】 今の説明に対して、質問等があるか。では、引き続き検討委員会で進めて、しかるべきタイミングで審議会に報告したいと思う。では今後のスケジュールを確認する。事務局から説明をお願いします。
- 【事務局】 環境基本計画について 12 月にパブリックコメントを行い、その結果を踏まえて 1 月に最後の審議を行いたいと考えている。緑地保全計画のスケジュールもあ

るので、資料 2-3 には 1 月と記載してあるが、両計画の進捗や検討部会のスケジュールを踏まえて調整の上で開催日を各委員に連絡したい。

【会長】いずれにしてもメールで補って進めていきたいと思う。本日は以上となるが、何かあるか。なければ本日の審議会を終了する。

(6) 閉会

【会長】これで本日予定されていた全ての議題が終了した。平成 27 年度第 3 回環境審議会を終了する。ありがとうございました。

以 上